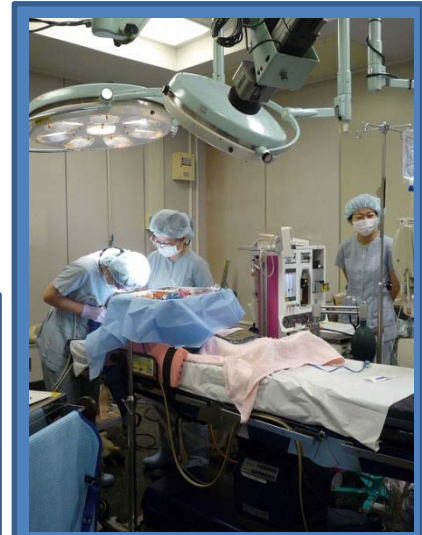


成長発達歯学講座 障害者歯科学分野

診療はチーム制

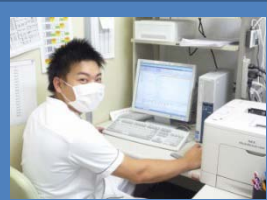
- リーダー、若手医局員、大学院生、研修歯科医でチームを構成する。
- 障害者の歯科診療を効率的に行うため、それぞれが役割を果たす。
- リーダーの診療を若手や研修歯科医が手伝うこともあれば、症例内容によっては研修歯科医が担当医となってリーダーや若手が指導しながら補助することもあり、臨床経験を積み重ねていく。
- 医局全体で保険診療、電子カルテシステム、その他の勉強会を行い、その後もチーム内でリーダーが個別指導する。
- 個々の症例に関する個別指導もリーダーが中心となって行う。



全身麻酔法のほか静脈内鎮静法を適用する症例も多数



マン・ツー・マンでの診療指導体制



医科歯科共通電子カルテを研修歯科医が使いこなす



医局内にも設置された電子カルテ端末で症例検討会

新入医局員の診療内容と主な取り組み

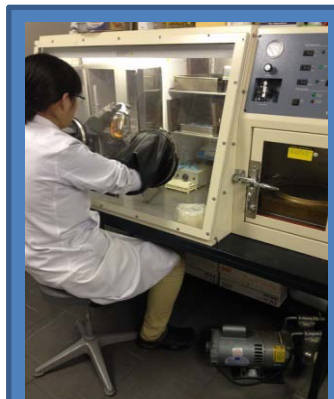
- 基本的な歯科診療(小児から成人まで)
- 新患対応(補助)
- 知的障害者の行動変容
- 笑気吸入鎮静法
- 静脈内鎮静法(補助)
- 全身麻酔下歯科治療(補助)
- シミュレータを使った技術トレーニング
- 抄読会
- 症例検討会(新患)
- 症例検討会(全麻下歯科治療計画)

大学院

- 細胞接着分子に関する研究
- 口腔内細菌に対する免疫応答に関する研究
- 骨の再生に関する研究



海外での発表



口腔内微生物に対する免疫応答のメカニズムを研究しています。

医局旅行



障害者歯科認定医への道

以下の条件を満たすことができるよう認定医取得に向けた指導体制をとっている。

- 3年以上の学会会員歴
- 学会の学術大会に出席
- 学会の学術大会での発表または論文掲載
- 延べ60回、20症例以上の臨床経験報告書
- 救急蘇生講習会を受講した者



(日本障害者歯科学会)臨床研修施設認定証